若者・女性に選ばれるまちへ －平川市の移住・定住推進－

地元で暮らし、働き、夢をかなえられる
選ばれるまち ひらかわ

1 人口の動きから見る現状と課題

過去5年間の転入・転出
（令和元年～5年）

転入 3,191人
転出 3,342人

151人の転出超過

年代別の転入・転出（5年間の合計）



転入元 上位5自治体（5年間）

1	弘前市	1,117人
2	黒石市	308人
3	青森市	255人
4	東京都	173人
5	宮城県	124人

転出先 上位5自治体（5年間）

1	弘前市	889人
2	東京都	298人
3	青森市	282人
4	黒石市	248人
5	宮城県	227人

2 現状から見える主な課題

1 若者・女性の地元定着の促進

10代・20代の転出超過が大きく、
特に女性の流出が顕著。



- 進学で市外へ…
- 就職先が少ない…
- 戻ってくるきっかけがない…

2 転出した若者・女性の首都圏からのUターンの推進



- 都会での生活が続き地元に戻る人が少ない
- 地元の情報が届きにくい
- 35歳頃が人生の転換点と言われている

3 学生向けキャリア教育の取組

区分	主な内容
小学校	● 子ども議会への参加 ● 農業体験（りんご・米作り） ● 地域の伝統文化体験（横笛講習会など） ● 修学旅行先と平川市の特色を比較する学習
中学校	● 職業人講話（地域の事業者） ● 職場体験学習 ● 高校説明会・体験入学
高校生～20代	● 平川市ユース議会（高校生～29歳） ● 企業ガイドブックの作成（令和4年度提案事業） ● 県の地元企業体験・見学会（今年度～）
目的	学校と社会のつながりを意識させ、社会的・職業的自立に必要な力を育て、将来の夢の実現につなげる。







4 一般質問での主な質疑応答（Q&A）

Q1 転入・転出の傾向と課題は？

A 過去5年間で151人の転出超過。10代・20代の転出超過が大きく、特に女性の転出が多い。進学・就職で市外へ転出した後、戻ってくる若者が少ないことが課題である。（市長）

Q2 キャリア教育はキャリア・パスポートと連携しているか？

A 職場体験学習で直接的な使用はしていないが、経験が将来の夢や目標を考える場面で生かされている。各小・中学校で計画的に活用している。（教育長）

Q3 中学生から市職員等を講師に招く取組はできないか？

A 高校生は市外進学が多く集客が課題。弘前圏域で連携し、各校に出向いて実施する方が効率的と考える。令和3年度から学生向け移住PR事業を実施し、移住者の講師や市職員が地元の魅力を紹介している。（総務部長）

Q4 十日町市のような女性・子育て世代への取組はできないか？

A 若者・女性への定着は次なる課題と認識しており、県や弘前圏域と連携し、全国の事例を参考に取組を進めていく。（総務部長）

Q5 専門部署を設置し総合プロジェクトを立ち上げるべきでは？

A 第2期平川市まち・ひと・しごと創生総合戦略を総合プロジェクトとして展開している。審議会で検証し、効果のある取組を継続もしながら、若者・女性への取組も強化していく。（副市長）

Q6 今後の方向性は？

A 働く場の創出、郷土教育の充実、情報発信が重要で一朝一夕には解決できない課題。県や弘前圏域と連携し、若者の人口移動の特徴を踏まえた取組を着実に進める。（市長）

5 十日町市の事例から学べること（参考）

「選ばれて 住み継がれるまち とおかまち」

若者・女性・子育て世代ジモト回帰促進プロジェクト
- 働きやすい環境づくり（求人情報サイト・企業支援）
- 産業体験・地域理解（まちの産業発見塾）
- 冬を楽しむ空間づくり、情報発信
- UIターン情報誌、地域交流支援　など

② まちの産業発見塾
- 中学生～高校生効果の産業体験・企業学習
- 地元への自信と愛着を育む

③ 若手職員のワーキンググループ
- 若手職員の提案から事業化、移住定住推進係を設置





6 平川市で考えられる今後の取組イメージ

地元で働ける環境づくり
- 企業の魅力発信・求人情報の充実
- 女性・子育て世代が働きやすい職場環境づくりの支援



地域を知り、愛着を育む教育
- 小中高へ体系的な産業体験
- 市職員・地域企業による講話
- キャリア・パスポートの効果的活用



U・Iターンの促進
- 若者向け情報発信（SNS・WEB）
- UIターン情報誌の作成
- 移住者との交流イベント
- 首都圏とのつながりづくり



専門部署・官民連携
- 移住・定住の旗振り役となる専門部署の設置
- 行政・教育・企業・地域住民の総力で取り組むプロジェクト
- 園の交付金を活用した期間限定の集中プロジェクト



若者・女性が「地元で働き、暮らし、未来を描ける」選ばれるまち　ひらかわ市へ